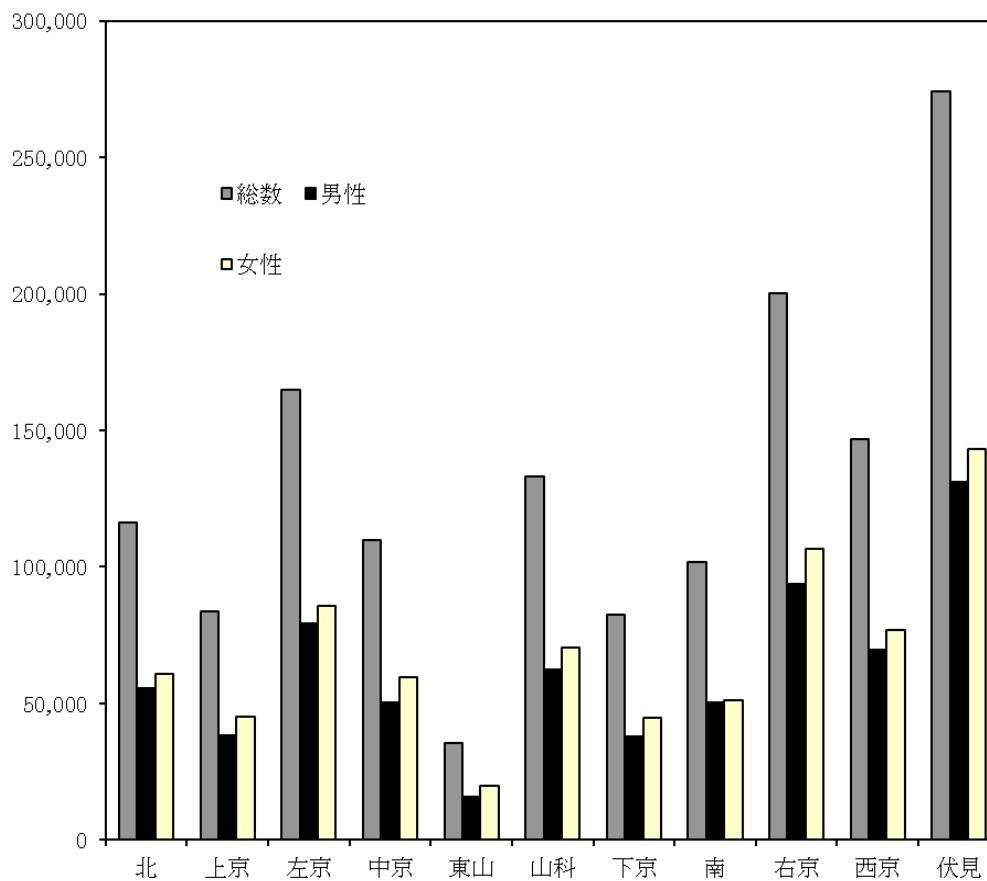


人口の概況

令和4年10月1日現在の京都市の人口（推計）は1,448,964人で、前年に比べて4,992人、0.34％減少した。世帯数（推計）は739,344世帯で、前年より7,773世帯、1.06％増加し、1世帯当たりの世帯人員は、前年の1.99人から0.03人減少して1.96人となった。行政区別人口では伏見区が最も多く、全市の20％近くを占めている（図1）。

図1 行政区別人口

単位:人



京都市の人口を年次推移でみると、戦後順調に増加を続けたが、昭和50年代後半から微増状態となり、昭和60年代から平成6年までは微減傾向に転じた。平成7年以降は再び微増状態となっていたが、平成29年以降減少傾向となっている（図2、図3）。

図2 京都市総人口の年次推移

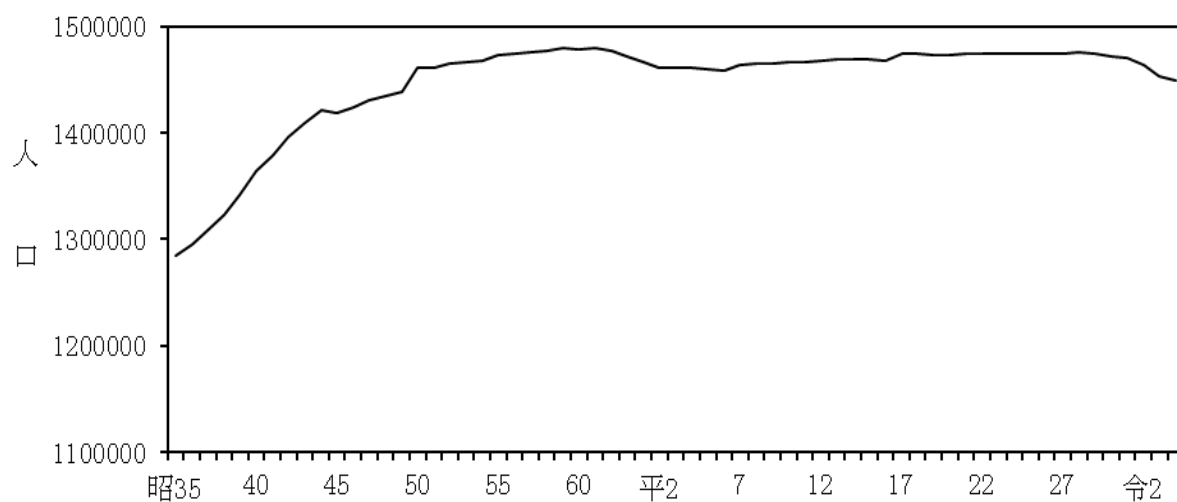
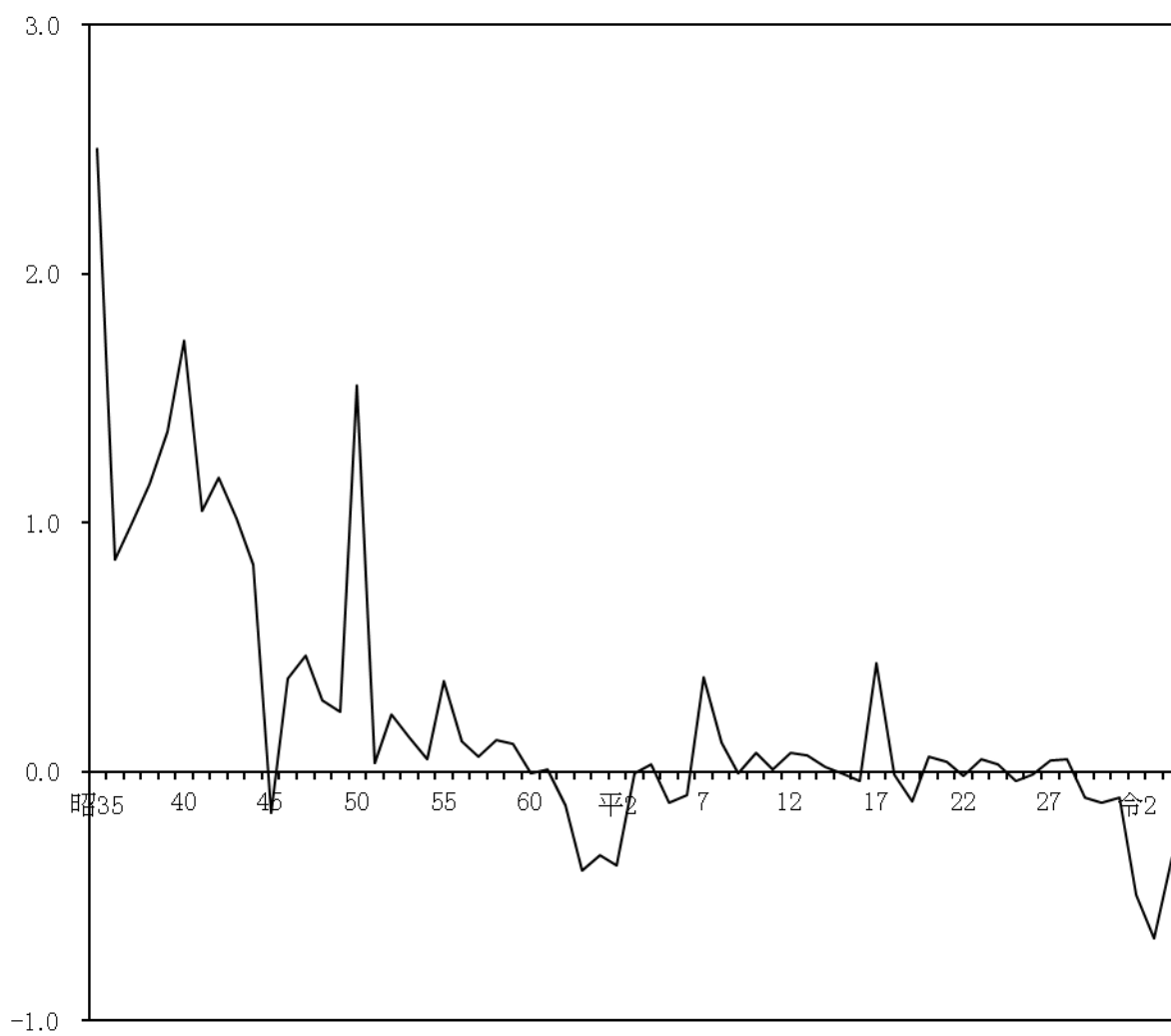


図3 人口増加率の年次推移

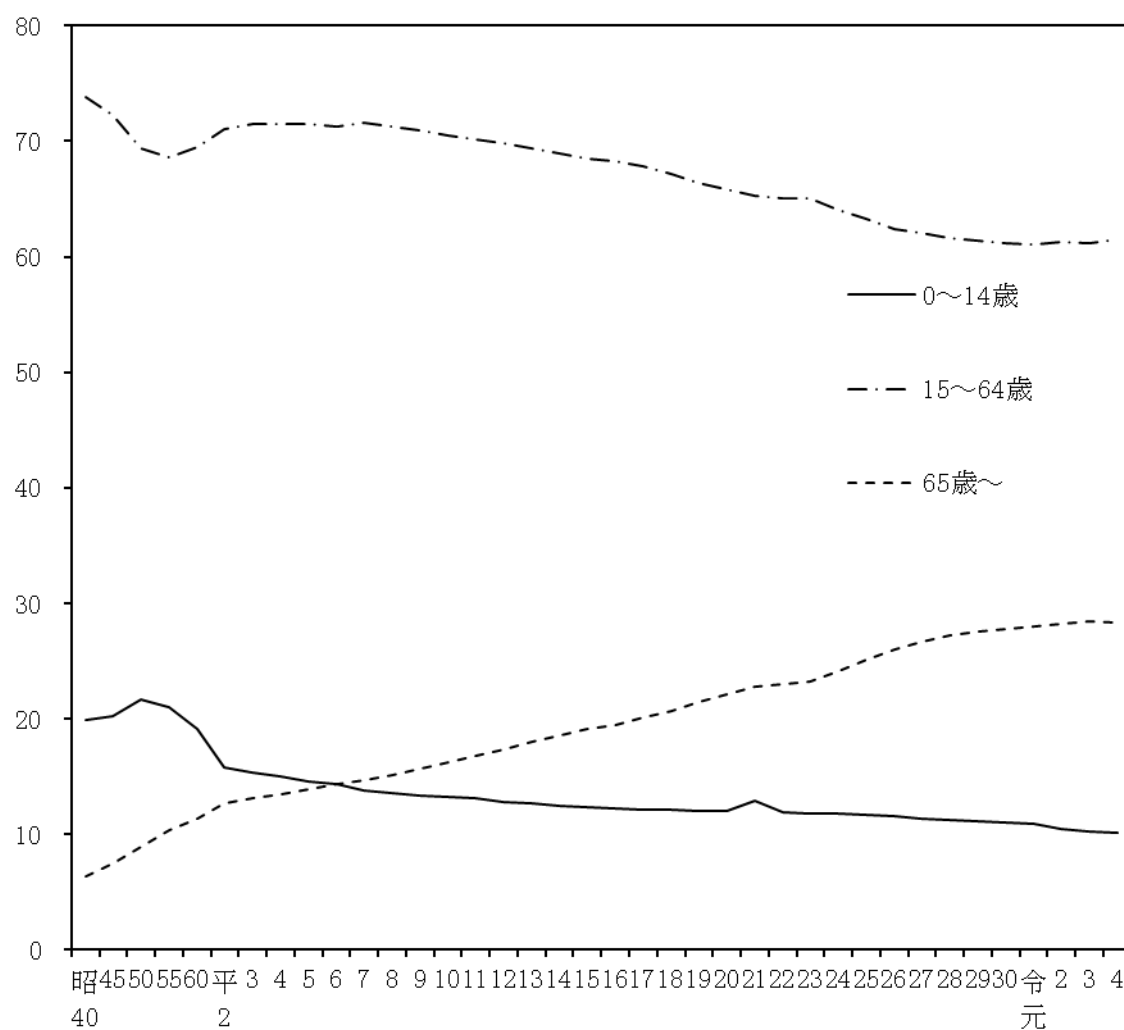
増加率/%



令和4年10月1日現在の京都市の人口（推計）を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口が146,305人（10.1%）、15～64歳の生産年齢人口が891,568人（61.5%）、65歳以上の老年人口が411,091人（28.4%）となり、年少人口より老年人口の全人口に占める割合が18.3ポイント高い。前年と比べると、高齢人口が占める割合に変化がないことに対して、年少人口が占める割合は0.2ポイント低下しており、高齢化が続く状況にある（図4）。

図4 年齢3区分別人口構成比率の年次推移

構成割合/%



（注）平成2年までは国勢調査年